

報道各位

(国内初開催) 湿地管理者向け国別研修会の新潟開催について

このたび、ラムサール条約東アジア地域センター（RRC-EA）主催による湿地管理者向け国別研修会が本市で開催されます。

この研修は、湿地の管理者と関係者を対象に、湿地管理の実務にかかる知識および能力の向上を図ることを目的として、韓国に事務局がある「ラムサール条約東アジア地域センター」が、2017年から国別に開催しているものです。

これまでブータン、ミャンマー、フィリピンの3か国で開催され、国内では初めての開催となります。

本件について、市民に広く周知するため、積極的な取材・広報にご協力をお願いします。

1. 研修名

2024年 湿地の保全とワイズユースに関する国別研修会

[過去の開催都市]

第1回（2017年） ティンパー（ブータン）

第2回（2018年） Moeyungyi 湿地（ミャンマー）

第3回（2022年） アンヘレス（フィリピン）

2. 主催・共催

（主催）ラムサール条約東アジア地域センター【RRC-EA】（事務局：韓国（スンチョン市））

（共催）環境省、新潟市

3. 研修の目的と内容

- ・湿地の保全とワイズユースの取組を向上させることを目的とし、湿地に関する国内外の最新動向のほか、管理計画の作成やモニタリングなど、湿地の保全・管理に関する講義やグループ討議、さらには現地視察等を含む研修を行う。

4. 対象者（参加者）

国内の湿地関係の行政職員（指定管理者、関連団体職員を含む）など約40人

5. 研修日程

令和6年8月27日（火）～30日（金）の4日間 ※初日は午後開始、最終日は昼頃終了予定

6. 研修カリキュラム（予定） 別紙1参照

7. 取材申込

- ・取材にご協力いただける場合は、別紙2取材申込書に必要事項を記入のうえ、8月23日（金）正午までにメールまたはFAXにてお申し込みください。

【お問い合わせ先】

新潟市環境政策課 高橋・佐藤
電話025-226-1359(直通)

湿地管理者向け国別研修会カリキュラム(予定)

(令和6年8月16日現在)

【1日目】8月27日(火) ホテルオークラ新潟 4階「コンチネンタル」

時間		内容	講師・発表者
13:30 ~ 13:45	0:15	オープニング(開講式)	・ス・スノオ氏(RRC-EAセンター長) ・中原市長 ・中澤圭一氏(環境省野生生物課長)
13:45 ~ 14:15	0:30	ラムサール条約と同東アジア地域センターについて	・ス・スノオ氏(RRC-EAセンター長)
14:15 ~ 14:45	0:30	日本の湿地の保全に関する最近の動向	・酒井 郁氏(環境省自然環境局野生生物課専門官)
14:45 ~ 15:15	0:30	新潟市の湿地環境とラムサール条約湿地自治体認証について	・澤口晋一氏(新潟国際情報大学教授、新潟市里潟研究ネットワーク会議座長)
15:15 ~ 15:30	0:15	日本国際湿地保全連合の活動紹介	・長倉恵美子氏((特非)日本国際湿地保全連合)
15:30 ~ 15:50	0:20	休憩・記念撮影	
15:50 ~ 16:30	0:40	事例から学ぶ湿地管理計画	・ラミレス・ノーマン氏(RRC-EAプログラムオフィサー)
16:30 ~ 17:00	0:30	湿地生態系サービスの基礎	・阿部拓三氏(南三陸町自然環境活用センター任期付研究員)
17:00 ~ 17:10	0:10	質疑応答	

【2日目】8月28日(水) 新潟国際情報大学 新潟中央キャンパス 9階「講堂」

時間		内容	講師・発表者
9:30 ~ 9:45	0:15	オープニング(アイスブレイク)	・新井雄喜氏(松山大学准教授)
9:45 ~ 10:10	0:25	事例発表(1):大山上池・下池の事例(仮)	・上山剛司氏(庄内自然博物館構想推進協議会事務局次長)
10:10 ~ 10:35	0:25	事例発表(2):地域に根ざした湿地センターの活用を目指して ～米子水鳥公園ネイチャセンターを例に～	・神谷 要氏((公財)中海水鳥国際交流基金財団常務理事)
10:35 ~ 10:45	0:10	休憩	
10:45 ~ 11:10	0:25	事例発表(3):宮島沼の事例(仮)	・牛山克巳氏(美唄市宮島沼水鳥・湿地センター)
11:10 ~ 12:10	1:00	生態系を活用した防災・減災(ECO-DRR)	・寺山 淳氏(大正大学教授)
12:10 ~ 13:10	1:00	昼食	
13:10 ~ 14:40	1:30	グループワーク:湿地管理における課題と対応策	・新井雄喜氏(松山大学准教授)
14:40 ~ 14:50	0:10	休憩	
14:50 ~ 15:50	1:00	琵琶湖のめぐみを体感する学校教育における教育実践	・中村大輔氏(草津市教育委員会学校教育課係長)
15:50 ~ 16:50	1:00	湿地生態系サービスの迅速評価手法(RAWES)	・阿部拓三氏(南三陸町自然環境活用センター任期付研究員)
16:50 ~ 17:00	0:10	質疑応答	

【3日目】 8月29日(木) 市内フィールド視察(佐潟、福島潟など)

時間		内容	講師・発表者
～ 8:30		ホテルオークラ新潟 出発	
8:30 ～ 9:20	0:50	(バス移動)	
9:20 ～ 10:20	1:00	水の公園福島潟・水の駅「ビュー福島潟」ガイドツアー	ビュー福島潟
10:20 ～ 11:10	0:50	(バス移動)	
11:10 ～ 11:45	0:35	新潟市歴史博物館みなとびあ ガイドツアー	新潟市歴史博物館
11:45 ～ 11:53	0:08	(移動)	
11:53 ～ 13:00	1:07	水上バス 信濃川ウォーターシャトル	信濃川
13:00 ～ 14:00	1:00	昼食	新潟ふるさと村
14:00 ～ 14:30	0:30	(バス移動)	
14:30 ～ 15:15	0:45	佐潟水鳥・湿地センター ガイドツアー	・佐潟水鳥・湿地センター
15:15 ～ 16:30	1:15	ミニグループワーク:RAWESフィールド評価シート	・阿部拓三氏(南三陸町自然環境活用センター任期付研究員)
16:30 ～ 17:20	0:50	(バス移動)	
17:20 ～		ホテルオークラ新潟 到着	

【4日目】 8月30日(金) 新潟国際情報大学 新潟中央キャンパス 9階「講堂」

時間		内容	講師・発表者
9:30 ～ 9:40	0:10	フィールド視察のふりかえり	
9:40 ～ 10:45	1:05	ラムサール条約湿地情報シート(RIS)の更新	・新井雄喜氏(松山大学准教授)
10:45 ～ 11:00	0:15	休憩	
11:00 ～ 12:05	1:05	日本における湿地教育 ーKODOMOラムサール湿地交流の果たしてきた役割	・中村玲子氏(ラムサールセンターフェロー)
12:05 ～ 12:30	0:25	クロージング(受講証授与、閉講式)	・RRC-EA、環境省、新潟市

取材にご協力いただける場合は、お手数ですが、以下に必要事項をご記入の上、
8月23日（金）正午までにメールまたはFAXにてお申込みください。

E-mail : kansei@city.niigata.lg.jp

FAX : 025-222-7031

新潟市環境部環境政策課 行

**【8月27日～8月30日】
RRC-EA 主催 湿地管理者向け国別研修会
＜取材申込書＞**

貴社名				
連絡先	氏 名			
	電話番号			
	FAX 番号			
取材希望日時 (希望する日に 「○」を入力し、概 ねの時間帯を記載)	8月27日（火）	:	~	:
	8月28日（水）	:	~	:
	8月29日（木）	:	~	:
	8月30日（金）	:	~	:
取材人数	人			
備 考	その他連絡事項がある場合はご記入ください。			
放送・発行予定日	令和 年 月 日			